

令和4年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	串間温泉いこいの里	
所在地	串間市大字本城987番地	
指定管理者	名称	大淀開発株式会社
	代表者	代表取締役 堀之内 芳久
	住所	宮崎県都城市上長飯町5427番地1
モニタリングの実施方針・方法等	業務報告書の提出を受け、モニタリングを行った。 また、サービスの質については、運営評価モニター会議にて、適正なサービス提供が行われているかを確認した。	
担当課 (問い合わせ先)	串間市役所 商工観光スポーツランド推進課 観光スポーツランド推進係 (TEL0987-55-1126 内線268)	

■モニタリングの総合コメント

串間温泉いこいの里の運営については、旅館業法、公衆浴場法等の関連法令等を遵守のうえ、地域の資源である温泉を活用し、市民はもとより観光客等に対し、健康増進と心身のリフレッシュの場を提供することで、観光交流の推進及び福祉の増進に寄与している。また、多様な機能が集約されていることで、地域コミュニティの活性化の場となっている。

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響が残っている状況であったが、令和3年度と比較して、浴場人員、宿泊人員の増が図られている。

今後も、温浴客をはじめ、レストラン・売店等の魅力向上を図るための、市内関係団体への理解醸成を図りながら、利用者増につながる施設運営に努めていただきたい。

■今後の業務改善に向けた考え方

施設については、適正に管理がなされているが、建物本体や開設当初からある既存設備等については、老朽化に伴い修繕箇所が増加していることから、これまで同様、日常管理はもちろんのこと点検・メンテナンスを定期的実施していただきたい。

サービス面については、スタッフ全員が利用者満足度を高めること等によるリピーターの獲得等、利用者増加につながるようなおもてなし対応に努めていただきたい。

イベント等については、地元である本城地区団体と連携したイベント等を実施されているが、今後も多くの市民にご愛用いただける施設となれるよう、市内関係団体との連携した取り組みについて鋭意展開していただきたい。

飲食の提供については、今後さらなるいこいの里ファンを創出するためにも、他施設との差別化を図り、地元食材を積極的に活用したここでしか味わうことができない食事メニューの開発や、既存メニューの磨き上げに努めていただきたい。

■ 基本的な考え方(施設の性格・目的との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性
施設の設置目的を理解し、その目的に沿った取り組みが行われており、健康増進と心身のリフレッシュの場としての機能を果たし、施設の設置目的に沿った運営が行われている。

■ 業務内容

・機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)
コロナ禍の中において、大規模な自主事業は困難な状況にあったが、スポーツ合宿誘致等に積極的に取り組んでいた。今後は、さらなる合宿誘致に努めるとともに、各市民団体への広場等も活用した入浴・食事プランの開発・セールスをはじめ、地域食材を活かしたターゲットを絞った食の提供などを実施していただきたい。
・責任性・実効性(施設の運営体制や組織)
協定書に基づき、適正な管理運営が行われていた。物的施設としても日々維持管理できており、連絡調整会議をはじめ、必要時には適宜連絡調整を行っており、市と指定管理者間の意思疎通も十分図られていた。
・明瞭性・規律性(適正な事務や経理)
経理責任者を配置するなど、確実な経理が行われており、業務報告についても適正になされている。
・安全性(安全管理、緊急時等の対応)
施設での設備の不具合等、利用者に影響が及ぶような突発対応時には、市への報告は迅速に行われている。
・社会性(環境等への配慮)
施設には、令和元年度に再生エネルギー設備である太陽光発電設備及び木質バイオマスボイラー設備を導入しており、適切に管理されている。

■ 事業収支

経済性
収支については、厳しい経営状況となっている、今後の収益増に向け、さらなるサービス向上策の実施や地域に愛される温泉として魅力の磨き上げに努めていただきたい。

■ 団体の経営状態

経営の健全性
さらなる経費節減に努める必要があるが、経費節減によるサービスの低下が起こらないよう注意が必要である。今後も経営改善を行う必要があるため、各数値データを分析し、データに基づく効果的かつ効率的な経営に努めていただきたい。